



SOARER



TOYOTA
ELECTRO MULTIVISION

エレクトロ マルチビジョン

取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。

取扱書は車の中に保管しましょう。

TOYOTA

ELECTRO MULTIVISION

■輝度スイッチ

- ▲側を押している間画面が明るくなります。
- ▼側を押している間画面が暗くなります。

■テレビ・スイッチ

■チャンネル・スイッチ



■電源切スイッチ

- マルチビジョンの画面を消すことができます。

■オーディオ・スイッチ

■車両情報スイッチ

■地図スイッチ

この装置は、エンジン・スイッチがONまたはACCのときに使用できますが、バッテリー保護のためできるだけエンジンをかけてご使用ください。

トヨタ・エレクトロ・マルチビジョンは

- オーディオの操作スイッチ
 - 全国の高速道路図
 - テレビ放送の受信
 - 走行に関する情報の提供
- など各種の情報を画面に表示できる装置です。

画面背景色について

画面を見やすくするため、ライト消灯時(昼間)とライト点灯時(夜間)とで背景色がかわります。

- ライト消灯時<昼間表示>
- ライト点灯時<夜間表示>



輝度スイッチの▲側を押し続けると昼間表示に切り替わります。

もう一度夜間表示にもどすときは▼側を押します。

スイッチ操作について

この装置は、画面上のスイッチで操作する場合があります。

- 画面保護のため、画面上のスイッチは軽く押ししてください。
- スイッチ(画面上のものを含む)は、応答ブザーが鳴るまで押ししてください。



画面にメッセージがでた場合は、そのメッセージにしたがってください。



安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。

目次

C O N T E N T S

オーディオ画面

ラジオをお聞きになるときは



P 2

カセット・テープをお聞きになるときは



P 8

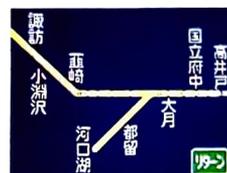
CDをお聞きになるときは
(CDオート・チェンジャー装着車)



P 12

地図画面

高速道路図をご覧になりたいときは



P 16

テレビ画面

テレビをご覧になるときは
ビデオをご覧になるときは



P 18

エンジン・オイルなどの交換時期を知りたいときは



P 22

燃費や燃料の消費量を知りたいときは



P 24

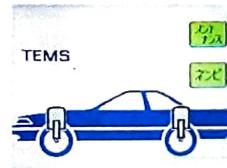
車両情報画面

オート・ドライブ(自動定速走行装置)の
使用状態を知りたいときは



P 25

電子制御エア・サスペンション(TEMS)
の作動状態を知りたいときは
(3.0GT-LIMITEDエアサス仕様車)



P 26

割り込み画面

エンジン、オートマチック・トランスミッ
ションなどに異常がおきたときは



P 27

ラジオ、カセット、CD(コンパクト・ディスク)の操作ができます。

オーディオ画面



サウンド・スイッチ

オーディオ・スイッチ



1. エンジン停止時は、ラジオ、カセット・ステレオ、CDプレーヤーを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞きください。

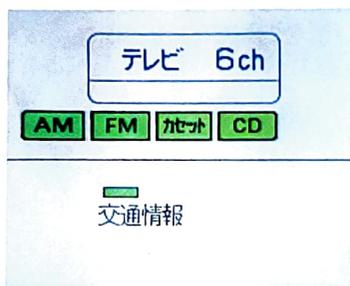
オーディオ画面のdashikata

オーディオスイッチを押します。

〈ラジオ、カセット、CD、テレビの電源がはいっていないとき〉

〈テレビの電源がはいっているとき〉

〈ビデオをご覧になっているとき〉



オーディオ画面から次の操作ができます。

- ラジオをお聞きになるときは _____ 4ページ
- 交通情報をお聞きになるときは _____ 6ページ
- カセット・テープをお聞きになるときは _____ 8ページ
- CD(コンパクト・ディスク)をお聞きになるときは _____ 12ページ

を参照してください。

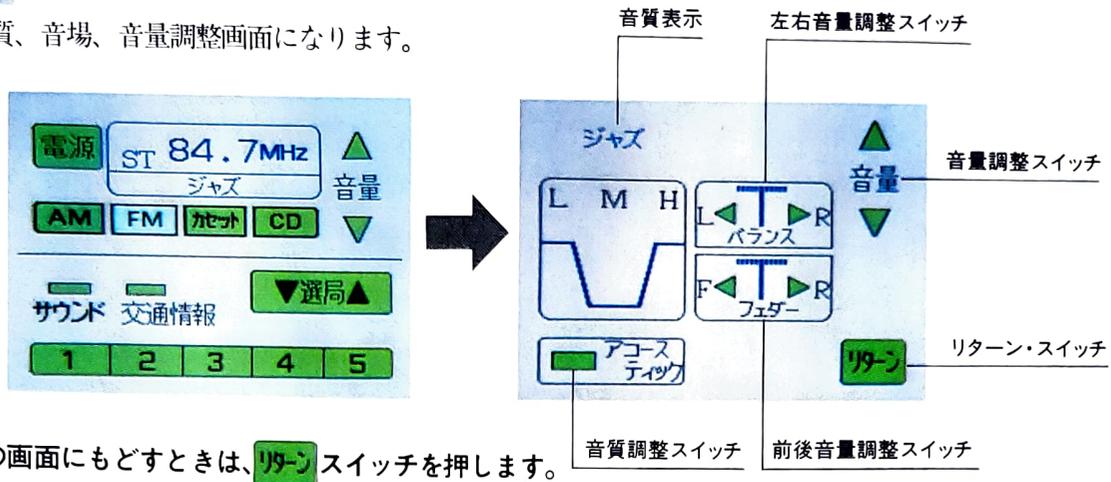
● テレビの操作については18ページ、ビデオについては21ページを参照してください。

音質、音場、音量調整のしかた

ラジオ、カセット、CDをお聞きになっているとき調整できます。

1 **サウンド** スイッチを押します。

●音質、音場、音量調整画面になります。

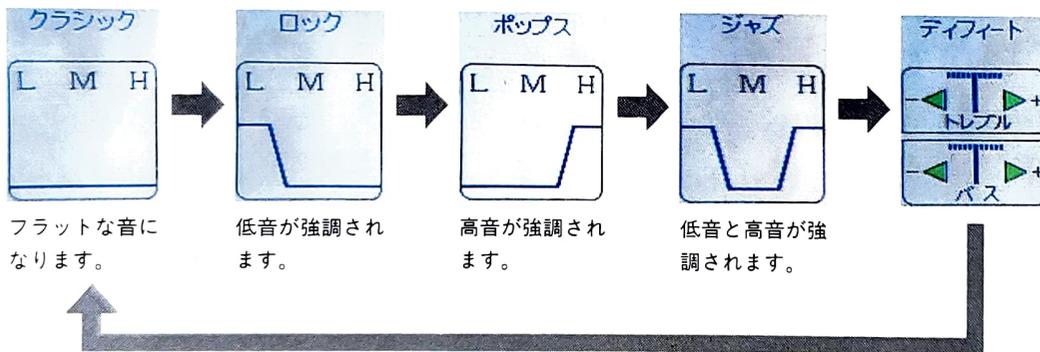


2 もとの画面にもどすときは、**リターン** スイッチを押します。

音質調整のしかた

アコースティック スイッチを押して、お好みの音質を選びます。

●スイッチを押すごとに、音質表示が次のようになります。



- 高音を強調したいときは **トレブル** スイッチの▶側を、弱めたいときは◀側を押します。
- 低音を強調したいときは **バス** スイッチの▶側を、弱めたいときは◀側を押します。

音場調整のしかた

バランス スイッチの▶側を押すと右側の、◀側を押すと左側の音量が大きくなります。

フェダー スイッチの▶側を押すとうしろ側の、◀側を押すと前側の音量が大きくなります。

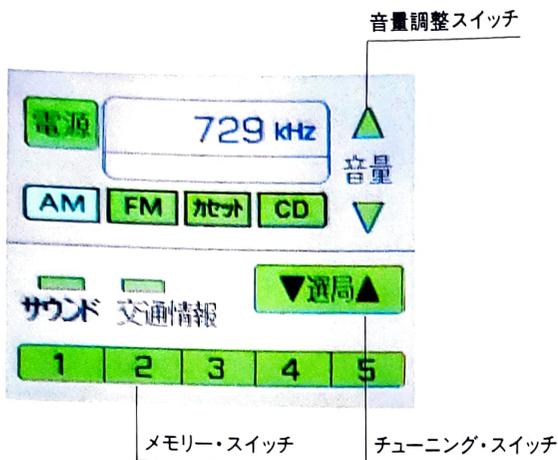
音量調整のしかた

音量調整スイッチの▲側を押すと大きくなり、▼側を押すと小さくなります。

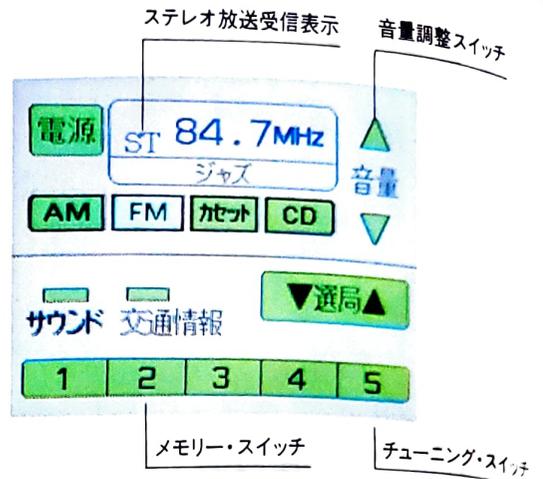
ラジオをお聞きになるときは

- 1 **AM** (または **FM**) スイッチを押します。
●電源がはいり、ラジオ操作画面に切り替わります。

〈 **AM** を押したとき 〉



〈 **FM** を押したとき 〉



- 2 **▼選局▲** スイッチまたはメモリー・スイッチを押して、希望の局を選びます。
☞ 次の「選局のしかた」、次ページの「メモリー・スイッチについて」を参照してください。
- 3 電源を切るときは、**電源** スイッチを押します。
● **電源** スイッチをもう一度押すと電源がはいり、電源を切る前にお聞きになっていたラジオ放送を受信します。

選局のしかた

●手動選局のしかた

▼選局▲ スイッチの▲側または▼側を押すごとに、段階的に周波数がかわります。

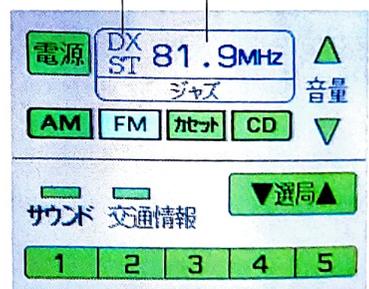
●自動選局のしかた

▼選局▲ スイッチの▲側または▼側をブザーが鳴り終わるまで(約2秒間)押します。

- 放送を受信すると自動的に止まります。
- 自動選局を途中で解除したいときは、**▼選局▲** スイッチをもう一度押します。

自動選局感度表示

受信周波数表示部



〈自動選局感度表示について〉

- ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。
- 放送を受信したら約15秒後に表示は消えます。
 - 表示がでてでも選局しないときは、手動選局で希望の周波数にあわせてください。

メモリー・スイッチについて

スイッチ1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

●記憶のしかた

- 1 **▼選局▲** スイッチで記憶させたい放送局の周波数にあわせませす。
- 2 メモリー・スイッチのうちいずれか1つをブザーが鳴り終わるまで(約2秒間)押します。
 - 以上の操作で、メモリー・スイッチに放送局が記憶されます。



ちょっと一言

車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、メモリー・スイッチの記憶は消去されます。もう一度メモリー・スイッチに記憶しなおしてください。

ステアリング・サテライト・スイッチについて

●電源スイッチ

- スイッチを押すと、電源が切れます。
- もう一度押すと、電源がはいり、電源を切る前にお聞きになっていたラジオ放送を受信します。



●AM/FM切り替えスイッチ

AM(またはFM)側を押すとAM(またはFM)放送をお聞きになれます。

●音量調整ツマミ

●選局スイッチ

<手動選局のしかた>

スイッチの▲側または▼側を押すごとに、段階的に周波数がかわります。

<自動選局のしかた>

スイッチの▲側または▼側をブザーが鳴り終わるまで(約2秒間)押します。

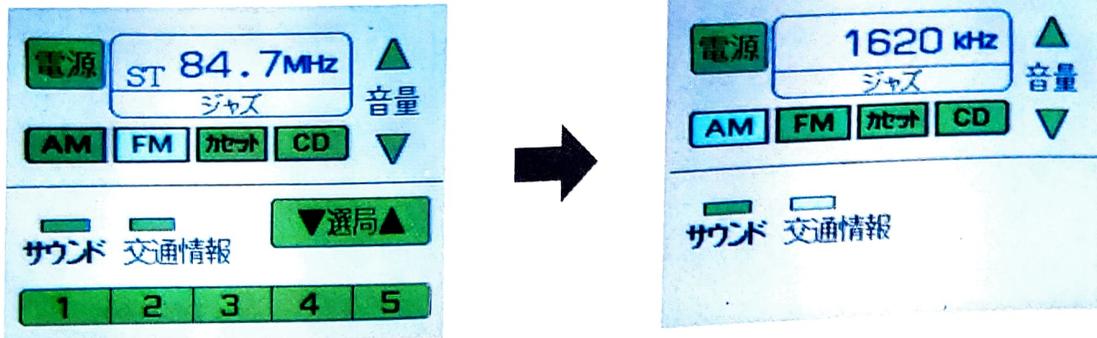
- 放送を受信すると自動的に止まります。
- 自動選局を途中で解除したいときは、スイッチをもう一度押します。

交通情報をお聞きになるときは

交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。

1 **交通情報** スイッチを押します。

●新車時は1620KHzにセットしてあります。



2 解除したいときは、**交通情報** スイッチをもう一度押します。

セットのしかた

1 **▼選局▲** スイッチで記憶させたい交通情報局の周波数にあわせます。

<参考>

道路名	地 域	周 波 数	
		上り線	522KHz
国道17号	三国峠	下り線	1611 KHz
東名高速	多摩川区間 港北区間	1620KHz	
阪神高速	森の宮～高井田間 長田出口	1620KHz	

2 **交通情報** スイッチをブザーが鳴り終わるまで(約2秒間)押します。

●以上の操作で交通情報局をセットできます。

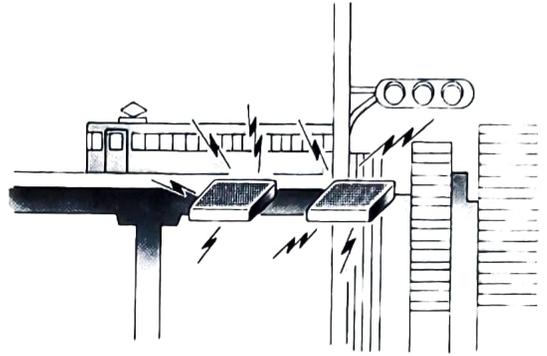
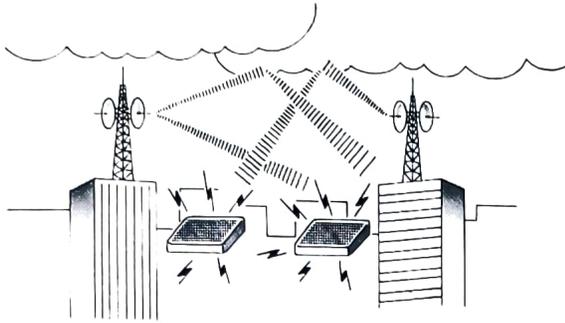


1. 交通情報スイッチはAM専用のメモリー・スイッチとしても使用できます。
2. 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、周波数は1620 KHzにセットされます。

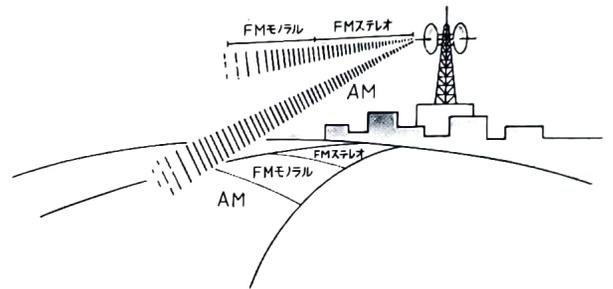
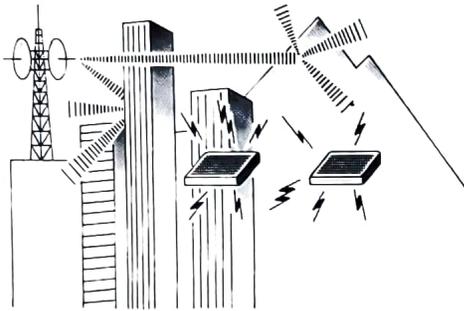
ラジオ放送の電波について

カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。この関係の主な例を以下に説明します。

- 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がいったり、混信する場合があります。
- 電車や信号機の近くを走行すると雑音がある場合があります。



- 電波の特性上、建物や山などが、障害物となり、受信状態が悪くなって雑音はいりやすくなります。
- 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



アンテナについて

アンテナは、リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込まれています。



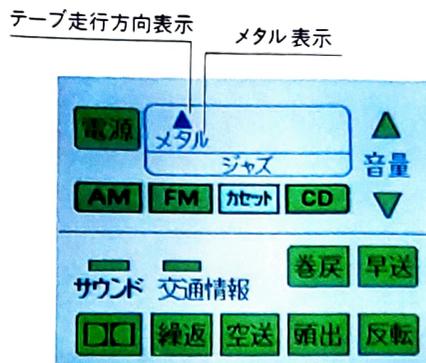
アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は湿った布で熱線にそって軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用をさけてください。

カセット・テープをお聞きになるときは

- 1 テープ差し込み口に、テープを差し込みます。
 - 電源がはいり、テープをお聞きになれます。



〈カセット操作画面〉



- 2 再生を停止したいときは、**電源** スイッチを押します。
 - 再度再生したいときは、**電源** スイッチをもう一度押すか、**カセット** スイッチを押します。

〈メタル表示について〉

メタル(またはクロム)・テープを差し込むと、メタルを表示します。

テープの走行方向をかえたいときは

反転 スイッチを押します。

- テープ片面の演奏が終わると自動的に反対側の演奏に切り替わります。(オート・リバーズ機構)

ドルビー(B)*NR録音テープを使うときは

- 1 **DR** スイッチを押します。
- 2 解除したいときは、**DR** スイッチをもう一度押します。

*ドルビー・ノイズ・リダクションはドルビー・ラボラトリーズ・ライセンス・コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 **DR** は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンス・コーポレーションの登録商標です。

早送り、巻きもどしをするときは

- 1 早送りをしたいときは **早送** スイッチを、巻きもどしがしたいときは **巻戻** スイッチを押します。
- 2 解除したいときは、**カセット** スイッチを押します。
 - テープの再生を始めます。

テープを取り出すときは

- テープ取り出しボタンを押します。
- テープが自動的に手前に押し出されます。



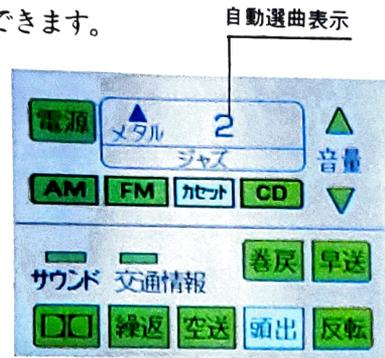
テープ取り出しボタン

- カセット・テープをいれたままエンジン・スイッチをOFFにしても、1回だけ取り出し操作が行えます。

自動選曲のしかた(頭出し)

いまお聞きになっている曲の前後、9曲の中から希望曲の頭出しができます。

- 1 頭出しをしたい曲の曲数だけ(2曲目の場合は2回)、**頭出**スイッチを押します。
 - テープ再生中に行ってください。
- 2 希望曲まで早送りするときは**早送**スイッチ、巻きもどしをするときは**巻戻**スイッチを押します。
 - 希望した曲の初めから、演奏が始まります。

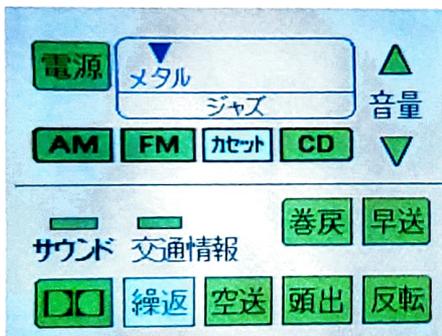


1. 巻きもどしの場合、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれますので注意してください。
2. テープの残りの曲数以上の頭出しをしたときは下記ようになります。
 - 早送りのときはテープ反対側の1曲目から演奏されます。
 - 巻きもどしのときは同じ側の1曲目から演奏されます。
3. 曲と曲の間の無音部分が4秒以下のときや、曲と曲の間に雑音のある場合、または極めて小さい音が4秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

- 3 自動選曲を解除したいときは、**カセット**スイッチを押します。

同じ曲を繰り返して聞きたいときは

- 1 **録返**スイッチを押します。



- いまお聞きになっている曲の演奏終了後、曲の初めから再び演奏を始めます。
- 2 解除したいときは、**録返**スイッチをもう一度押します。



曲と曲の間の無音部分が4秒以下のときや、曲と曲の間に雑音がある場合、または極めて小さい音が4秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

無音部分を飛ばして聞きたいときは

- 1 **空送**スイッチを押します。



- テープ再生中、無音部分が約6秒以上あると、自動的に早送りして次の曲の頭出しができます。
- 2 解除したいときは、**空送**スイッチをもう一度押します。



1. 曲と曲の間に雑音があるテープや曲の初めと終わりが明確でないテープは正常に作動しないことがあります。
2. テープが終端にくると自動的に反対側になり1曲目の初めから演奏を始めます。

ステアリング・サテライト・スイッチについて

●電源スイッチ

- スイッチを押すと、電源が切れます。
- もう一度押すと、電源がはいり、テープの再生を始めます。

●選局スイッチ

スイッチを押すと、テープの走行方向が変わります。



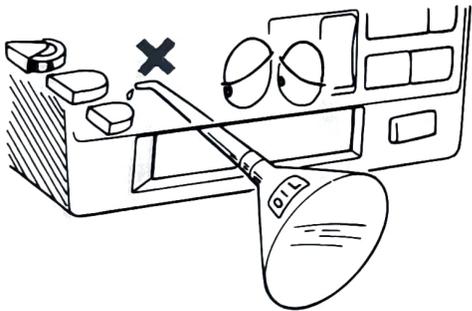
●AM/FM切り替えスイッチ

AM(またはFM)側を押すとAM(またはFM)放送をお聞きになれます。

●音量調整ツマミ

カセット・デッキについて

- カセット・デッキには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。



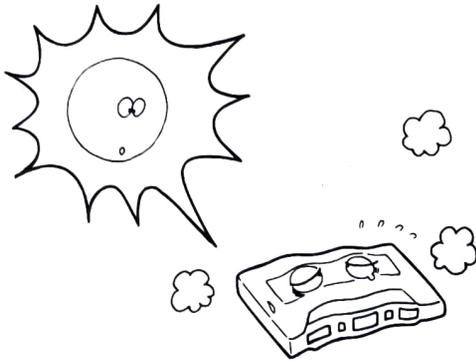
- ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。



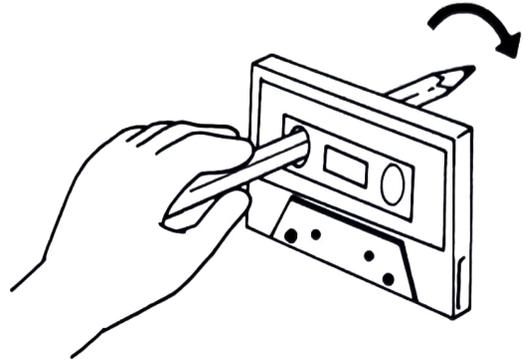
- カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

カセット・テープについて

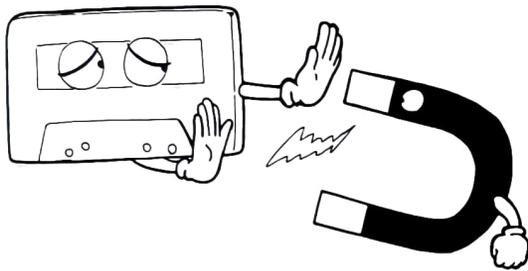
- カセット・テープを直射日光の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセット・ケースに入れてこれらの場所をさけて保存してください。



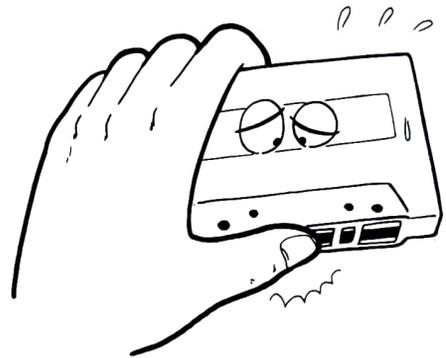
- テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。



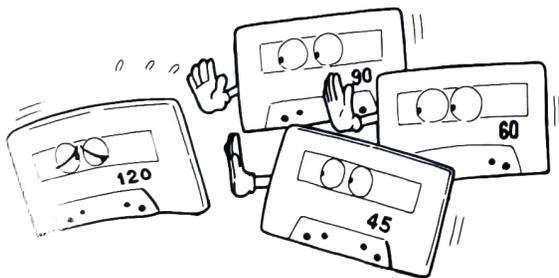
- カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。



- テープ面に指が直接触れるとテープがよごれ、音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。



- 120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。



- カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますのでご注意ください。



CD(コンパクト・ディスク)をお聞きになるときは

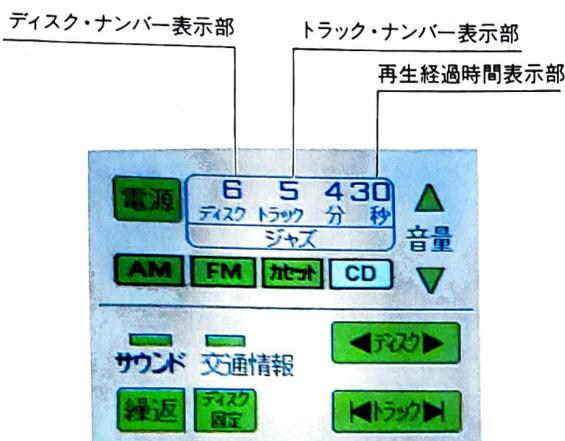
CDオート・チェンジャーは、ディスクを専用マガジンに収納し(12枚まで収納可)オート・チェンジャーにセットするだけで、連続演奏することができます。

1 CDをCDオート・チェンジャーにセットします。

☞ CDオート・チェンジャーの取り扱いについては、次ページの「CDオート・チェンジャーについて」を参照してください。

2 **CD** スイッチを押します。

●電源がはいる、CDをお聞きになれます。



〈ディスク・ナンバー表示部〉

何番目のディスクを聞いているのかわかります。

〈トラック・ナンバー表示部〉

ディスクの何番目の曲を聞いているのかわかります。

〈再生経過時間表示部〉

再生を始めてから経過した時間がわかります。

3 再生を停止したいときは、**電源** スイッチを押します。

●再度再生したいときは、**電源** スイッチをもう一度押すか、**CD** スイッチを押します。

希望のディスクをお聞きたいときは

◀ディスク▶ スイッチの◀側または▶側を押し、お聞きたいディスク・ナンバーを選びます。

●ディスクの最初の曲から再生を始めます。

希望の曲をお聞きたいときは(頭出し)

◀トラック▶ スイッチの◀側または▶側を押し、お聞きたい曲のトラック・ナンバーを選びます。

●曲の最初の部分から再生を始めます。

同じディスクを繰り返して聞きたいときは

1 **戻る** スイッチを押します。

2 解除したいときは、**戻る** スイッチをもう一度押します。

同じ曲を繰り返して聞きたいときは

1 **戻る** スイッチを押します。

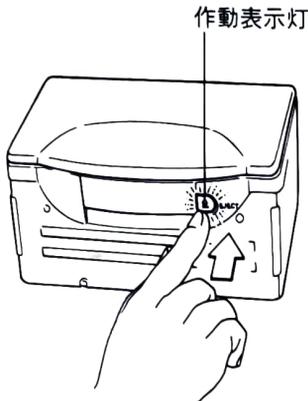
2 解除したいときは、**戻る** スイッチをもう一度押します。

CDオート・チェンジャーについて

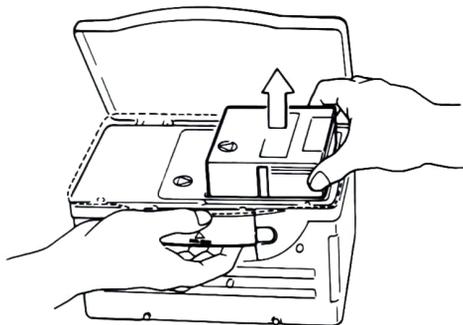
●ディスクをセットするときは

1 トランク内にあるオート・チェンジャーのイジェクト・ボタンを押します。

- 自動的にマガジンが上昇し、作動表示灯が点滅します。



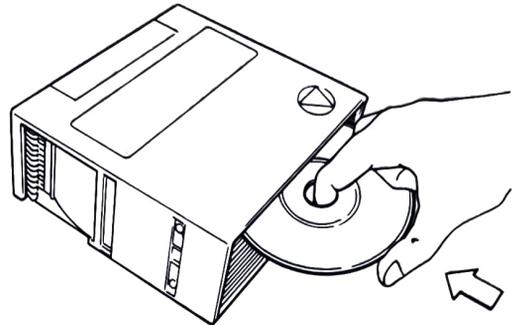
2 作動表示灯が消灯したらオート・チェンジャーのフタを開けてマガジンを取り出します。



作動表示灯が点滅しているときはフタを開けないでください。イジェクト作動が停止します。

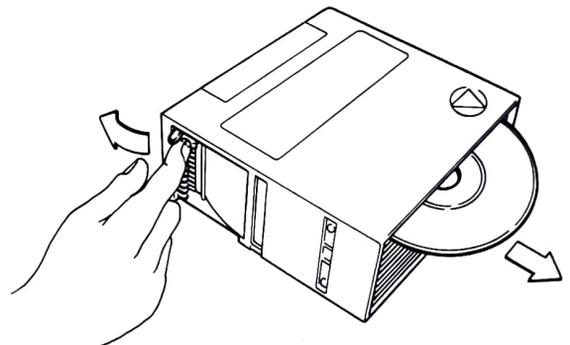
3 ラベル面を上にして、ディスクを差し込みます。

- ディスクは12枚まで収納できます。

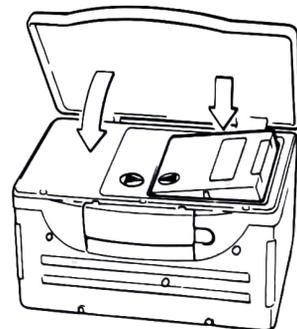


ディスクは必ずラベル面を上にして差し込んでください。ラベル面を下にして差し込むと、再生しません。

- ディスクを取り出すときは、マガジン横のレバーを引きます。



4 マガジンの▲マークとオート・チェンジャーの▲マークを合わせてセットし、フタを閉じます。



- フタを閉じると、マガジンは自動的に収納され、ディスクがマガジンにセットされているかを検索します。

検索には約90秒ほどかかります。

ステアリング・サテライト・スイッチについて

●電源スイッチ

- スイッチを押すと、電源が切れます。
- もう一度押すと、電源がはいり、CDの再生を始めます。

●選局スイッチ

ディスクにはいつている曲の頭出しができます。



●AM/FM切り替えスイッチ

AM(またはFM)側を押すとAM(またはFM)放送をお聞きになれます。

●音量調整ツマミ

CDの上手な使い方

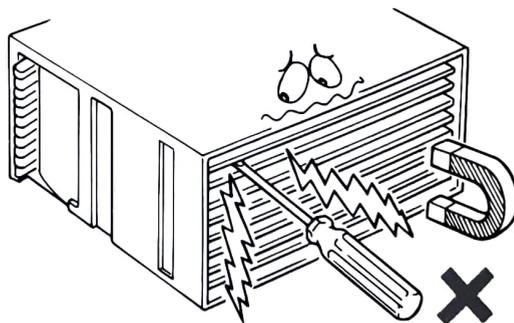
●CDオート・チェンジャーを長持ちさせるには

下図のマークのついたコンパクト・ディスク以外は使えません。



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露(水滴)を生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

- ディスク差し込み口には、ディスク以外のものをいれたり、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

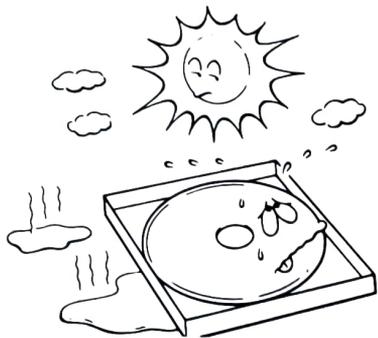


- 悪路を走行中、激しく振動した場合、音とびをすることがあります。このようなときは、路面のよい道路に出たからご使用ください。

●コンパクト・ディスクを長持ちさせるには

コンパクト・ディスクはいままでのレコード盤とちがい、ディスクに記録された信号をレーザー光線で読み取るため、針との接触で摩耗することはありません。しかし、表面やラベル面にキズがついたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になりますので取り扱いには十分注意してください。

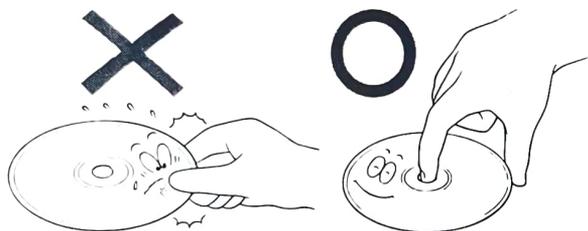
- コンパクト・ディスクは必ずケースにいれ、直射日光の当たる場所や高温、多湿の場所をさけて保存してください。



- やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向に軽くふきとってください。



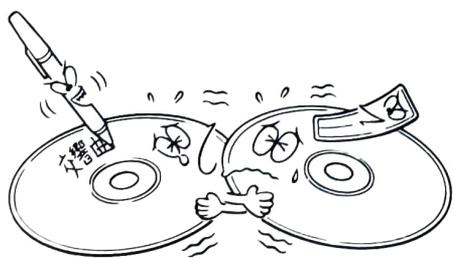
- 信号面(ラベルが貼っていない側)に直接触れるとディスクがよごれ、音が悪くなる場合がありますので必ずディスクの中心の穴と端をはさんで持ってください。



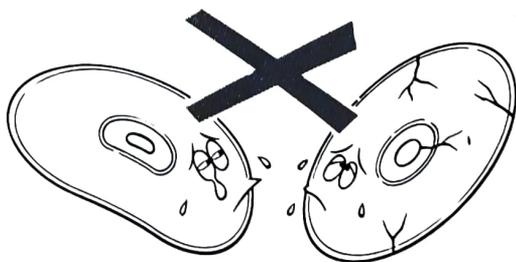
ベンジン、シンナー、レコード・スプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。



- ラベル面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。

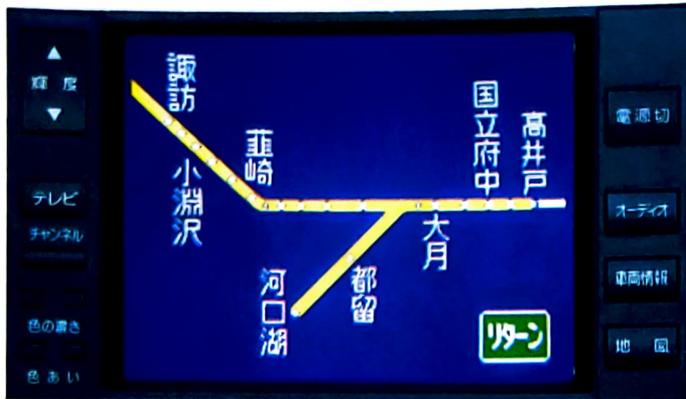


- ディスクはプレーヤー内部で高速回転しますので、ヒビがはいったり、大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障の原因になります。



地図画面

専用のビジュアル・インフォメーション・カセットを使って、全国の高速道路図を表示します。



〈ビジュアル・インフォメーション・カセット〉



地図スイッチ

高速道路図をご覧になりたいときは

高速道路図のしかた

全国の高速道路図を表示させることができます。

また、最後にご覧になっていた高速道路図を自動的に記憶します。(記憶画面)

1 **地図** スイッチを押します。

- 記憶画面がでます。
- 記憶画面がないときは、画面にメッセージがでますので、そのメッセージにしたがってください。



2 **リターン** スイッチを押します。

ビジュアルインフォメーション
カセットを入れて下さい。

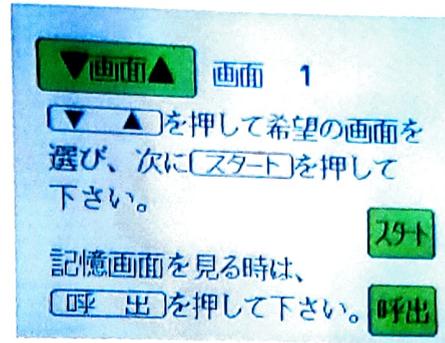
記憶画面を見る時は、
呼出を押して下さい。 **呼出**

- **呼出** スイッチを押すと記憶画面に切り替わります。

3 ビジュアル・インフォメーション・カセットをカセット・デッキに差し込みます。



- テープからのデータ読み込みが終わると次の画面がでます。



- 呼出** スイッチを押すと記憶画面に切り替わります。

4 **画面** スイッチの▼側または▲側を押して、高速道路の番号を選びます。

- 高速道路番号はカセット・ケースに添付の一覧表を参照してください。

5 **スタート** スイッチを押すと高速道路図がでます。

- 高速道路図を描き終わるとピッと鳴ります。
- 画面を他の高速道路図に切り替えたいときは、**リターン** スイッチを押して手順3の画面にもどします。



ちょっと一言

1. テープの傷、伸びなどで正常に作動しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
2. ビジュアル・インフォメーション・カセットにはいつている高速道路図は、昭和62年10月15日現在のものです。
予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
3. 道路図を完全に描き終わる前にカセットを取り出したり、他の画面に切り替えたりすると、記憶画面は途中までの道路図となります。

テレビ画面

操作スイッチ

〈エレクトロ・マルチビジョン〉

〈ステアリング・サテライト・スイッチ〉



テレビをご覧になる前に

エンジンをかけるか、エンジン・スイッチをONまたはACCにします。
さらに安全上の配慮から下記条件をすべて満たすことが必要です。

- 車を停止する
- チェンジ・レバーをPかNにする(A/T車)
- パーキング(駐車)・ブレーキをかける



走行中は、安全のためテレビ画像が消え、音声だけとなります。

テレビをご覧になるときは

マルチビジョンのスイッチと
ステアリング・サテライト・スイッチで

電源のいれ方

テレビスイッチを押します。

- 電源がはいてテレビ画面になります。このとき、受信中のチャンネルを画面右上に5秒間表示します。

電源の切り方

ステアリング・サテライト・スイッチの電源スイッチを押します。



1. **テレビ** スイッチでテレビの電源を切ることはできません。
2. テレビを見ているときに他の画面にする
と画面は押したスイッチの画面になりますが、テレビの音声は続けてお聞きになれます。

見ているチャンネルを知りたいときは

チャンネルスイッチを押します。

画面右上にチャンネル番号が表示されます。

音量調整

ステアリング・サテライト・スイッチの音量調整ツマミ
でできます。

チャンネルのかえ方

チャンネルスイッチを押します。

- スイッチを押すごとに、1チャンネルずつ大きい方へ選局します。
- スイッチをブザーが鳴るまで押し続けていると、チャンネルの大きい方へ自動選局を開始し、放送を受信すると止まります。



1. スイッチを押し続けていると、放送を受信しても止まりません。
2. 自動選局を途中で解除したいときは、スイッチをもう一度押します。

色あい調整

左側のボタンを押すと緑色が、右側を押すと赤色が強調されます。

色の濃さ調整

左側のボタンを押すと淡く、右側を押すと濃くなります。



色あい、色の濃さ調整ボタンは、テレビ画面専用です。他の画面での色あい、色の濃さ調整はできません。



ちょっと一言

リモコンを操作するときは次のことに気をつけてください。

- マルチビジョンの受光部に向けて操作する。
- リモコン信号発信部を手でかくさないようにする。

テレビをご覧になるときは

リモコンを使って

電源のいれ方

- **電源** スイッチを押します。
- 電源がはいてテレビ画面になります。このとき受信中のチャンネル番号を画面右上に5秒間表示します。

電源の切り方

- **電源** スイッチを押します。

見ているチャンネルを知りたいときは

- **CHコール** ボタンを押します。
- 画面右上にチャンネル番号が5秒間です。

音量調整

- 音量調整ボタンでできます。
- 上側を押すと音量が大きくなり、下側を押すと小さくなります。

チャンネルのかえ方

- **チューニング・ボタン**を使って
- 上側を押すごとに、1チャンネルずつ大きい方へ選局します。(下側のときは、1チャンネルずつ小さい方へ選局します。)
- 上側(または下側)をブザーが鳴るまで押し続けていると、チャンネルの大きい方へ(下側のときはチャンネルの小さい方へ)自動選局を開始し、放送を受信すると止まります。

▶メモリー・ボタンを使って

ボタンを押すと(2秒未満)、押したボタンに記憶されているチャンネルになります。このときチャンネル番号が5秒間画面右上にです。

メモリー・ボタンにチャンネルを記憶させるには

- 1 記憶させたいチャンネルをチューニング・ボタンで受信します。
- 2 メモリー・ボタンのうちいずれか1つを2秒以上押すと、押したボタンに受信しているチャンネルを記憶できます。
 - 記憶が完了すると、ブザーが鳴り、画面右上に次の表示が5秒間です。

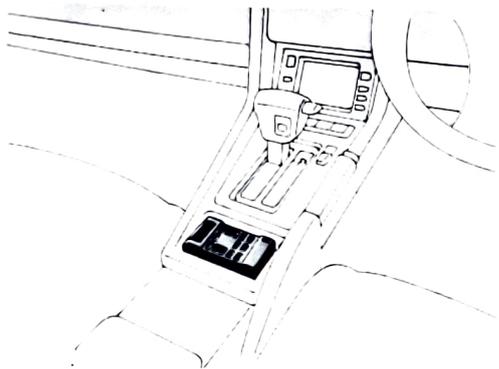


ちょっと一言

1. ボタンを押し続けていると、放送を受信しても止まりません。
2. 自動選局を途中で解除したいときは、ボタンをもう一度押します。

MEMORY
A: 1

リモコンの収納場所



★使用乾電池について

リモコンを操作したときに、作動しないときは乾電池を交換してください。

- 電池は2個使用しています。交換するときは、2個とも新品・同一のものをご使用ください。
- ⊕と⊖を間違えないようにいれてください。



リモコンは、直射日光の当たる計器盤の上など高温になるところに置かないでください。乾電池が破損注意！ するおそれがあります。

きれいに映るチャンネルを知りたいときは

テレビ受信感度サーチ画面のしかた

- 1 テレビの電源をいれます。
- 2 リモコンの **TV** **感度サーチ** ボタンを押します。
 - 感度サーチ画面になり、1チャンネルから順に62チャンネルまで受信状態を表示していきます。



ちょっと一言

1. テレビ受信感度サーチ中、テレビ音声はでません。
2. 感度サーチ画面は、**TV** **感度サーチ** ボタンを押した時点での受信電波の強さを表示するため、車の移動などによりテレビの画面状態と受信感度が異なる場合があります。この場合は、もう一度 **TV** **感度サーチ** ボタンを押してテレビの受信感度を確認してください。
3. 電波が強すぎる場合、受信感度が良好でもゴースト(二重画像)などが生じることがあります。

〈表示開始〉

テレビ受信感度		良好		やや良好	
VHF	1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11
	12				
UHF	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27
	28				
	29	30	31	32	33
	34	35	36	37	38
	39	40	41	42	43
	44	45	46	47	48
	49	50	51	52	53
	54	55	56	57	58
	59	60	61	62	CH

〈表示終了〉

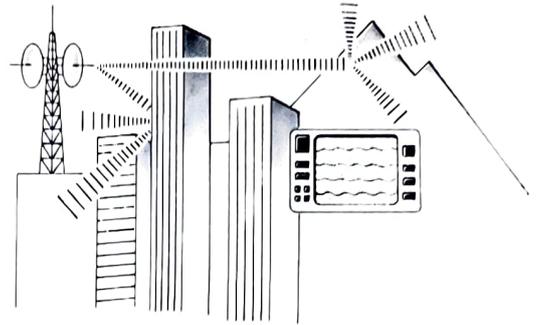
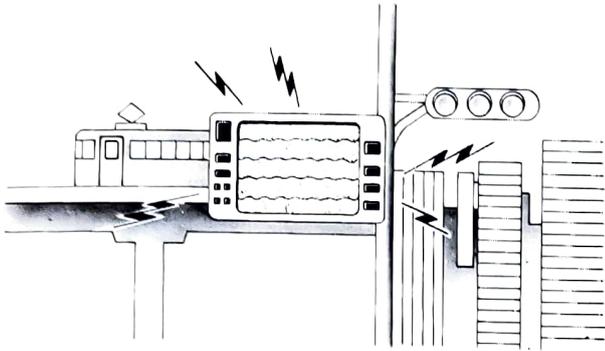
テレビ受信感度		良好		やや良好	
VHF	1	3	4	6	
	8	10	12		
UHF					
	29	31	33		
			42		
					CH

- 3 前の画面に切り替えるときは、**TV** **感度サーチ** ボタンを押します。

テレビ放送の電波について

カー・テレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなる場合があります。



- ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。

アンテナについて

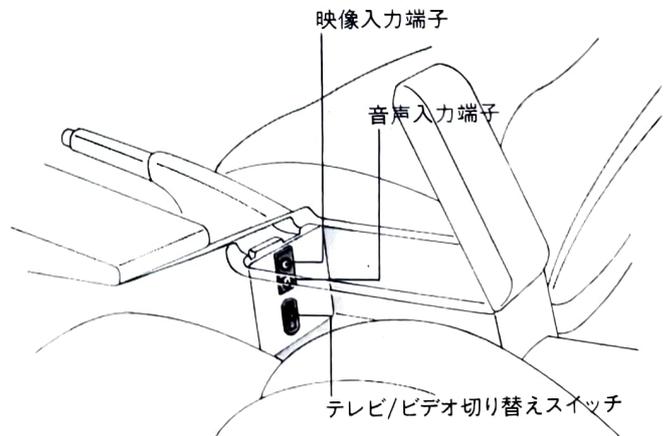
アンテナは、リヤ・クォーター・ウィンドウ・ガラスに埋め込まれています。



アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は湿った布で熱線にそって軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用をさけてください。

ビデオをご覧になるときは

- 1 ビデオ・アダプター(注装備)の映像入力端子と音声入力端子に、ビデオからの映像出力プラグと音声出力プラグを差し込みます。
- 2 テレビ/ビデオ切り替えスイッチを押します。
 - 画面に5秒間VTR表示がでます。
- 3 ビデオを再生します。



安全のため、ビデオもテレビと同様に走行中は、画像が消え音声だけとなります。

車両情報画面

ELECTRO
MULTIVISION

エンジン・オイルなどの交換時期、燃費、燃料の消費量、オート・ドライブ、電子制御エア・サスペンションの状態を表示します。

エンジン・オイルなどの交換時期を知りたいときは

車両情報 スイッチを押します。

〈メンテナンス表示画面〉

- エアサス表示画面がでた場合は、画面の **エアサス** スイッチを押すとメンテナンス表示画面に切り替わります。



メンテナンス表示は日頃忘れがちなお車のメンテナンス時期をタイミングよくお知らせするものです。十分ご活用いただき、お車の健康管理にお役立てください。

メンテナンス表示の見方

- 走行距離がセットした交換時期^{*}をこえていないとき

※交換時期のセット方法については次ページを参照してください。

セットしてからの走行距離(または経過月数)と残り距離(または残り月数)がわかります。

〈タイヤの交換時期を10,000kmにセットしてから5,000km走ったとき〉



- 走行距離がセットした交換時期をこえたとき

交換時期になった項目の表示が次のようになります。



- チェックの文字がでます。

〈テレビ画面以外のとき〉



- 警告音が鳴り、約5秒間メンテナンスの文字が画面左上に割り込み表示されます。
- メンテナンス表示に画面を切り替えて該当項目を確認してください。

交換時期のセット方法

タイヤを10,000kmにセットする場合を例に説明します。

1 **項目** スイッチをブザーが鳴り終わるまで押します。

- メンテナンス項目の背景色がかわります。

2 **項目** スイッチを押して、**タイヤ**の項目を選びます。

- **項目** スイッチを押すごとにメンテナンス項目の背景色が順々に変わっていきます。



1. この状態のまま10秒間操作しないと、セット開始前の表示にもどります。
2. 操作途中で他の画面に切り替えると、セット状態は取り消されます。

3 **セット** スイッチを押し、距離(メモは期間)を1.0万kmにセットします。

- **セット** スイッチを押すごとに0.1万km(**メモ** は1カ月)単位でグラフがのびます。



1. 操作途中で他の画面に切り替えたり **項目** スイッチを押すと、セット状態は取り消されます。
2. 操作を5秒間中断するとセット操作を終わったと判断し、セット完了状態となります。

距離のセットが終わったら、スイッチから手を離し5秒間待ちます。(セット完了)



バッテリーの接続をはずしても、コンピューターに記憶されているデータは消滅しません。

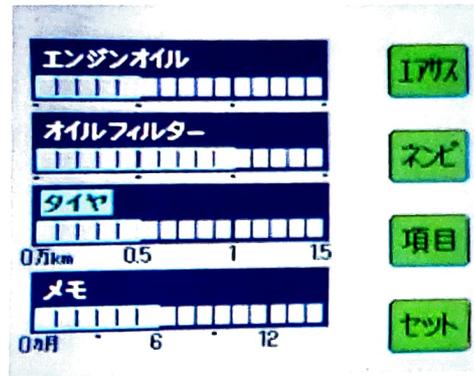
●他の項目も同様の手順でセットできます。

<参考>

メンテナンス項目	交換推奨時期
エンジン・オイル	5千kmごと
オイル・フィルター	1万kmごと
タイヤ*	1万kmごと

*タイヤ位置交換の場合

メモは月数で点検または交換をしたほうがよいもの(たとえば6カ月点検)にご利用ください。



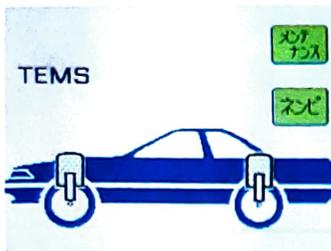
燃費や燃料の消費量を知りたいときは

メンテナンス(またはエアサス)表示画面にでている **ネビ** スイッチを押します。

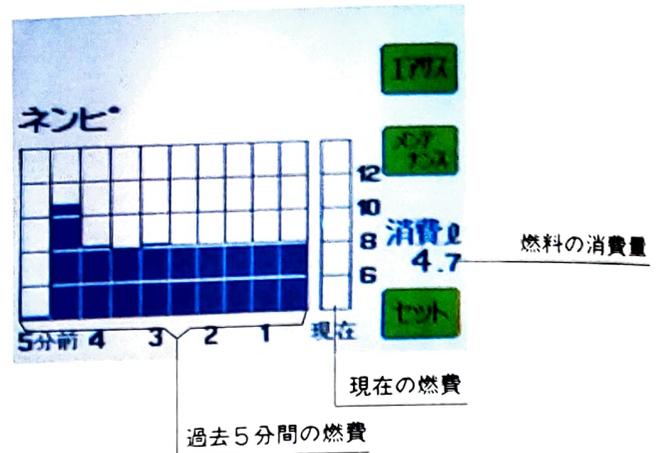
〈メンテナンス表示画面〉



〈エアサス表示画面〉



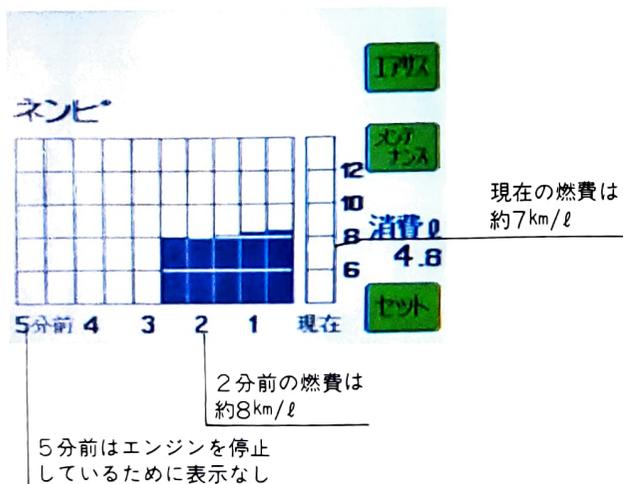
〈ネンビ表示画面〉



- ネンビ表示画面にでている **ネビ** スイッチを押すとメンテナンス表示画面に、**I/A/S** スイッチを押すとエアサス表示画面に切り替わります。

燃費表示の見方

現在の燃費をバーグラフで、過去5分間の燃費を棒グラフ(30秒単位)で読み取ることができます。



燃料の消費量表示について

セットした時点からの消費した燃料の量を表示します。

● セットのしかた

セット スイッチをブザーが鳴り終わるまで押し続けます。

- 表示が0.0ℓとなり、この時点からの消費量を積算します。



1. 消費量は99.9ℓまで表示されます。その後0.0ℓにもどり、再び積算します。
2. バッテリーの接続をはずしてもコンピューターに記憶されている消費量のデータは消滅しません。



1. 5分を過ぎた燃費は、順次消えていき新たな燃費が表示されます。
2. 燃費が表示範囲をこえたときは下記表示になります。
 - 4 km/ℓ未満のとき……4 km/ℓを表示
 - 14 km/ℓ以上のとき……14 km/ℓを表示

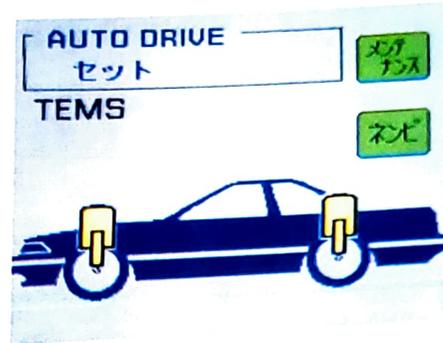
オート・ドライブ(自動定速走行装置)の使用状態を知りたいときは

- オート・ドライブのメイン・スイッチ*がONのとき、ネンピ(またはエアサス)表示画面にオート・ドライブの使用状態が表示されます。

〈ネンピ表示画面のとき〉



〈エアサス表示画面のとき〉



- オート・ドライブのメイン・スイッチ*をOFFにすると、オート・ドライブ表示は消えます。

表示の見方

- オート・ドライブのメイン・スイッチがONのとき



- オート・ドライブ走行中



- オート・ドライブをセットできないとき



- オート・ドライブ解除前の設定速度を記憶しているとき



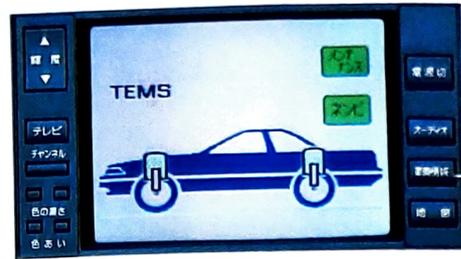
*取り扱い方法はソアラ取扱書の「オート・ドライブ(自動定速走行装置)」の項目を参照してください。

電子制御エア・サスペンション(TEMS)の作動状態を知りたいときは

〈エアサス表示画面〉

車両情報 スイッチを押します。

- メンテナンス表示画面がでた場合は、画面の **エアサス** スイッチを押すとエアサス表示画面に切り替わります。



車両情報スイッチ

エアサス表示の見方

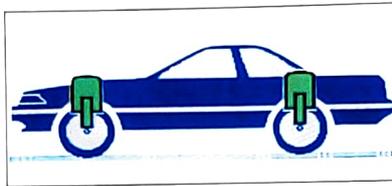
● 車高の状態

- 車高が高めるとき

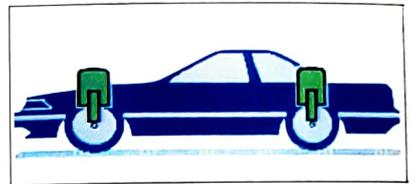


車高 **HIGH** の文字がでるのは車高切り替えスイッチ*がONのときのみ

- 車高が普通るとき

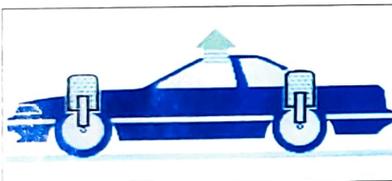


- 車高が低めるとき

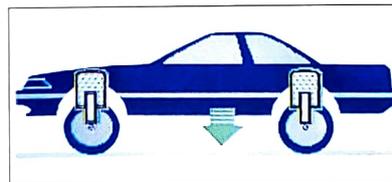


- 車高を調整しているとき

〈上昇中の場合〉



〈下降中の場合〉



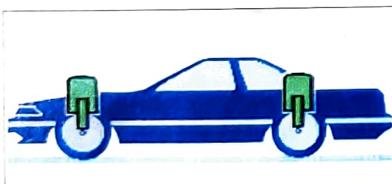
- 車の傾きを調整しているとき



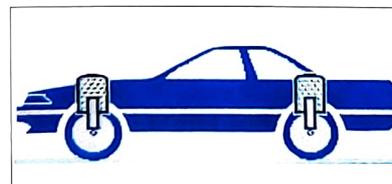
姿勢調整中の文字がでます。

● 路面の状態

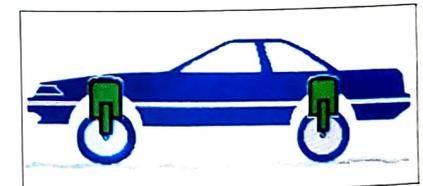
- 高速走行しているとき



- 通常走行しているとき

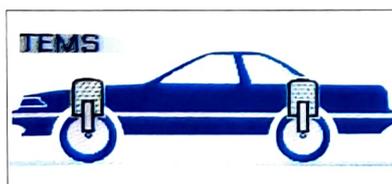


- 悪路を走行しているとき



● エアサス(TEMS*)

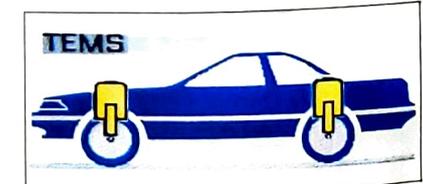
- 軟らかめ



- 中間



- 硬め



*取り扱い方法はソアラ取扱書の「電子制御エア・サスペンション(TEMS)」の項目を参照してください。

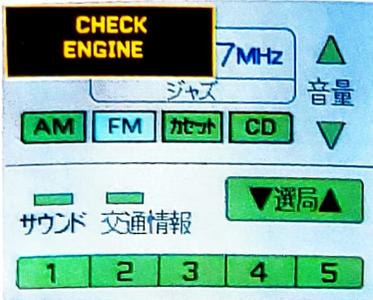
割り込み画面

ELECTRO
MULTIVISION

装置に異常が生じたとき、画面左上に装置名を割り込み表示して警告します。

次の5つの装置の異常を警告します。

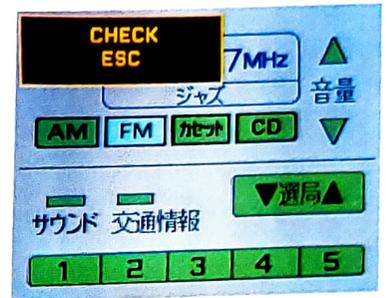
異常が発生すると警告音が鳴り、画面左上にチェック項目を表示します。



EFI(電子制御式燃料噴射装置)



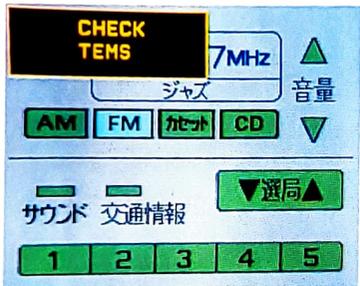
ECT(電子制御式オートマチック・トランスミッション)



ESC



オート・ドライブ(自動定速走行装置)

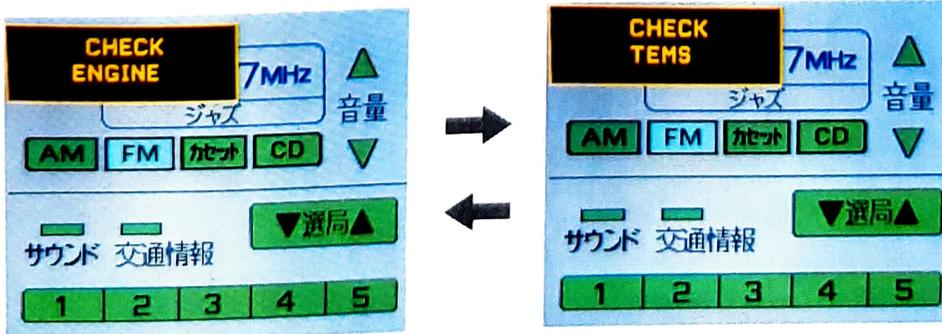


TEMS(電子制御エア・サスペンション)

オート・ドライブは10秒間だけ表示します。その他の項目は装置が正常になるまで表示します。

2つ以上の装置に異常が発生したときは

割り込み画面が3秒ごとにいれ替わって表示されます。



1. 割り込み画面が表示されたときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
2. 上記以外の警告画面がでたときは、画面の指示にしたがってください。
3. 割り込み画面は、テレビ画面になっているときには表示しません。

MEMO

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

●名古屋(本部) (052)952-3333

●札幌 (011)852-3333 ●大阪 (06) 252-2255

●秋田 (0188)65-7333 ●広島 (082)231-5333

●仙台 (022)267-3333 ●高松 (0878)23-4333

●東京 (03) 817-7333 ●福岡 (092)938-3333

●金沢 (0762)45-1333 ●鹿児島 (0992)27-5333

本部所在地 〒461 名古屋市東区泉1丁目23-22

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。

●写真は、撮影・印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

●印刷 1-1989年5月26日 ●発行-1988年1月11日(非売品)